

常磐病院 診療科週間予定表

診療科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
● 泌尿器科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
● 腎臓内科	○	○			○	○	○	○	○			
● 内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
● ポリペク外来					○			○				
● 消化器内科				○	○							
● 外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
● 乳腺外科	○				○		○		○			
● 血液内科				○			○ 第1・3		○			
● 婦人科	○	○	○	○	○	○			○	○		
● 循環器内科					○				○			
● 小児科	○ 第1・3・5	○ 第1・3・5										
● 糖尿病内科		○ 再	○ 再		○		○	○	○		○	
● 整形外科		○					○	○	○ 第2・4	○ 第4	○ 第2・3	○ 第3
● リウマチ膠原病科	○	○	○	○	○	○			○	○		

※再・・・再診のみ

※月1回、月曜日午後と金曜日にスポーツ整形外科の診察を行っております。



ときわ会常磐病院では、医師の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。
患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。

公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明)
地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00 ※土曜日は電話対応のみ
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-43-7399 / FAX:0246-43-7000

Leaf リーフ

地域連携だより

ときわ会 常磐病院では、
地域の医療施設・介護施設との
連携を強化するため、
当院の最新の医療情報を定期的に
お知らせしております。

Vol.
32

ときわ会 常磐病院 外科診療医師のご紹介

ときわ会 常磐病院の外科では外科領域における診療を行っています。
幅広い領域の診療をカバーし先進的な高度医療を提供するために、
外科部門の医師が連携して診療を実施しています。



黒川 友博 KUROKAWA Tomohiro
外科診療医師のご紹介

一般診療から最先端医療まで。

2020年7月より外科常勤医として勤務しております
黒川友博と申します。筑波大学・東京大学医科学研究所附属病院・マサチューセッツ総合病院などで、消化器外科や腫瘍免疫学を学ん
でまいりました。手術では大腸疾患を多く経験し、また上下内視鏡検査も行っており
ました。これまで同様、地域に根差し幅広く
外科一般の診療に対応できるようにすると
ともに、今後はロボット手術など、最先端の
医療を当院で提供して行きたいと思いま
す。若輩者ではありますが、これまでの経験
を活かし、日々精進して地域医療に貢献して
いけるように努めてまいりますので何卒よろし
くお願い申し上げます。

〈経歴〉
平成17年3月 筑波大学医学専門学群 卒業
平成17年4月 筑波大学附属病院 初期研修医
平成19年4月 筑波大学消化器外科
平成24年4月 筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻博士課程 入学
平成27年7月 東京大学医科学研究所附属病院外科
平成28年3月 筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻博士課程 終了
平成29年7月 ハーバード大学医学部・マサチューセッツ総合病院外科 リサーチフェロー
令和元年8月 東京大学医科学研究所附属病院外科 助教
令和2年7月 ときわ会常磐病院

〈所属・認定学会〉
医学博士
日本外科学会 専門医
日本消化器外科学会 専門医、指導医
消化器がん外科治療 認定医
日本消化器病学会 専門医
日本消化管学会胃腸科 専門医、暫定指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本抗加齢医学会 専門医
日本ヘリコバクター学会「H. pylori(ヒロリ菌)感染症認定医」



澤野 豊明 SAWANO Toyoki
外科診療医師のご紹介

多様なニーズに応える柔軟性。

はじめまして。消化器外科医の澤野 豊明と申しま
す。常磐病院に赴任する以前は、南相馬市立
総合病院と仙台オープン病院で消化器外科
と一般外科を学んでまいりました。大腸や鼠
径ヘルニアの腹腔鏡手術を中心に学びまし
たが、それに限らずニーズがあればどのよう
な疾患であれ外科診療が必要な患者さん
のお役に立てればと考えておりますので、
救急でもどんどん患者さんをご紹介いた
だければ幸いです。まだまだ若輩ですの
で、諸先輩方に教えていただきながら、い
わき市の皆様のお役に立てよう頑張ります
。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いし
ます。

〈経歴〉
平成26年3月 千葉大学医学部医学科 卒業
平成28年4月 南相馬市立総合病院 外科 後期研修医
令和1年8月 公益財団法人
仙台市医療センター仙台オープン病院
令和2年10月 ときわ会常磐病院

〈所属・認定学会〉
日本外科学会 専門医
日本スポーツ協会 公認スポーツドクター

外来での大腸ポリープ切除を始めました

当院では、2019年4月から消化器外科・内科で協力し内視鏡治療を積極的に行う体制となり、クリーンコロンを目指した大腸内視鏡検査を行っています。2020年9月からは外来でも大腸ポリープ切除を開始しました。病変に応じてcold snare polypectomyやhot snare polypectomy、EMRを適切に使い分けています。

大腸内視鏡検査に関しましては、ご高齢の方や透析の方、ご自宅での検査の前処置が不安な方、過去に大腸前処置不良であった方なども安心して検査を受けられるよう、患者さんのご希望や状態に応じ検査入院も行えます。

また、以前の検査時に疼痛・苦痛が強かった方につきましては静脈麻酔下での検査も対応しています。

早期癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を始めました

当院では、2019年6月より早期食道癌・早期胃癌・早期大腸癌に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を導入しました。ESDは粘膜下層浅層までにとどまる癌であれば、サイズに関係なく一括切除が可能な手技です。内視鏡治療の適応症例や、内視鏡治療か外科手術か治療方針に迷われる症例につきましては、消化器内科外来・ポリペク外来にご紹介ください。内視鏡治療の適応と判断した場合は、極力1カ月以内に治療できるよう日程調整を行います。外科手術の適応と判断した場合は、速やかに外科へ紹介します。

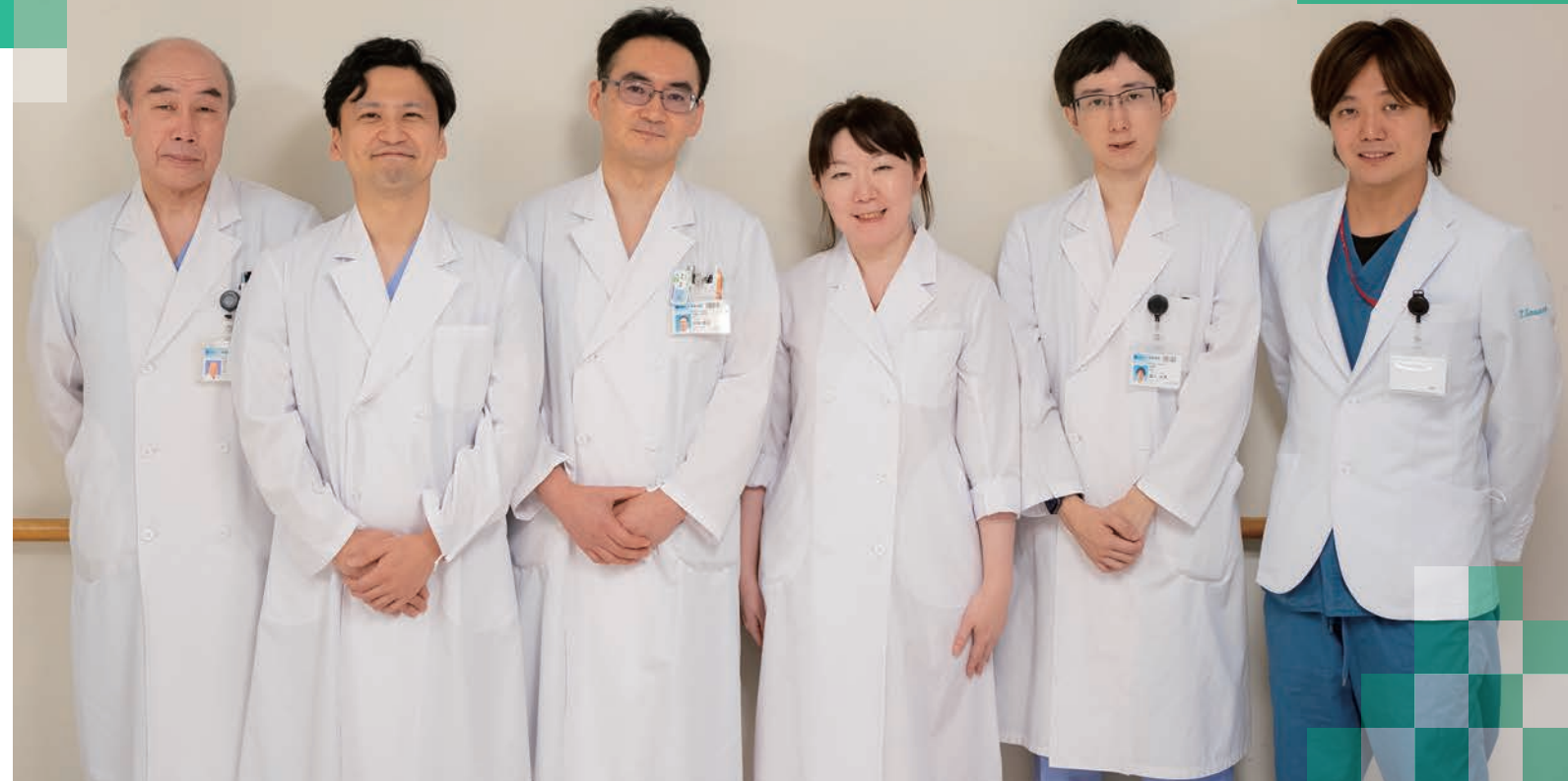
当院でESDを受けられる患者さんの特徴として、維持透析中、ご高齢、抗血栓薬服用中の方が非常に多いため、ESD後出血を予防するために治療後潰瘍を縫縮する工夫も行っています。また、内視鏡治療時は全例外科入院していただきおりバックアップ体制も万全です。

2020年10月現在までの当院ESDの合併症は、穿孔率0%、後出血率2.2%(胃ESDの全国平均 穿孔率2.3%、後出血率4.4%¹⁾)であり、安全性の高い内視鏡治療を行っています。

また、ESD後の病理標本は、内視鏡医も全例確認し、治療後の方針を決定するようにしています。

内視鏡治療のほか、MDL異常や便潜血陽性などの検診異常、消化管出血が疑われる症例などにつきましてもご紹介頂いた症例につきましては速やかに検査を行い、対応するよう努めていますので、[どうぞお気軽に当院の消化器内科\(火・水曜日\)・ポリペク外来\(木曜日\)・外科外来までご連絡ください。](#)

参考文献:Suzuki H et al. Dig Endosc 2019..



常磐病院外科では、胃癌・大腸癌・乳癌といった癌に対する手術を中心に、胆嚢結石症や鼠径ヘルニア、腸閉塞といった様々な治療を行っています。近年、ご高齢の患者さんや様々な疾病をお持ちの患者さんに対する手術を行う機会が増えており、手術後に様々な合併症が起こる危険性が高い傾向にあります。私たちは細心の注意を払い、手術から退院まで安全に治療が行えるよう努めています。

現在は、腹腔鏡下手術を中心に行っており、胃切除術・大腸切除術・胆嚢摘出術や虫垂切除術などの手術を腹腔鏡で行っています。また、患者さんの状態に応じて鼠径ヘルニアも腹腔鏡で手術をしています。今後は、ロボット支援下腹腔鏡手術(ダヴィンチ手術)も導入予定で、できるだけ患者さんに負担が少ない手術を目指しています。また、福島県立医科大学肝胆膵・移植外科および消化管外科との連携も図っており、難易度の高い手術などでは専門医師を派遣していただき、手術を行っています。

外科手術は手術が済んだらそこで終わりでは決してありません。特に癌の治療などは手術がはじまりです。私たちは患者さんと一生のお付き合いをするつもりで、メスを入れています。

常磐病院 副院長
神崎 憲雄

